

わらび WARABI

市議会 だより

No.206

2019・6

編集

蕨市議会広報広聴委員会

TEL/048-433-7733

FAX/048-432-7991

Eメールアドレス

gikai@city.warabi.saitama.jp



目次

今年度予算の概要	P 2
3月定例会の概要・今年度の主な事業	P 4
代表質問 各代表者が市政を問う	P 6
一般質問 13人の議員が登壇	P 8
3月定例会賛否一覧表	P15
6月定例会の日程・編集後記	P16

ご意見をお寄せください

今回の表紙写真は、蕨市市制施行60周年記念オープニングセレモニーの抽選会の様子です。今年度は、市制施行60周年を記念した事業を多数開催する予定となっています。市民の皆さんとともに、このたいせつな節目をまち全体で盛り上げていきましょう！

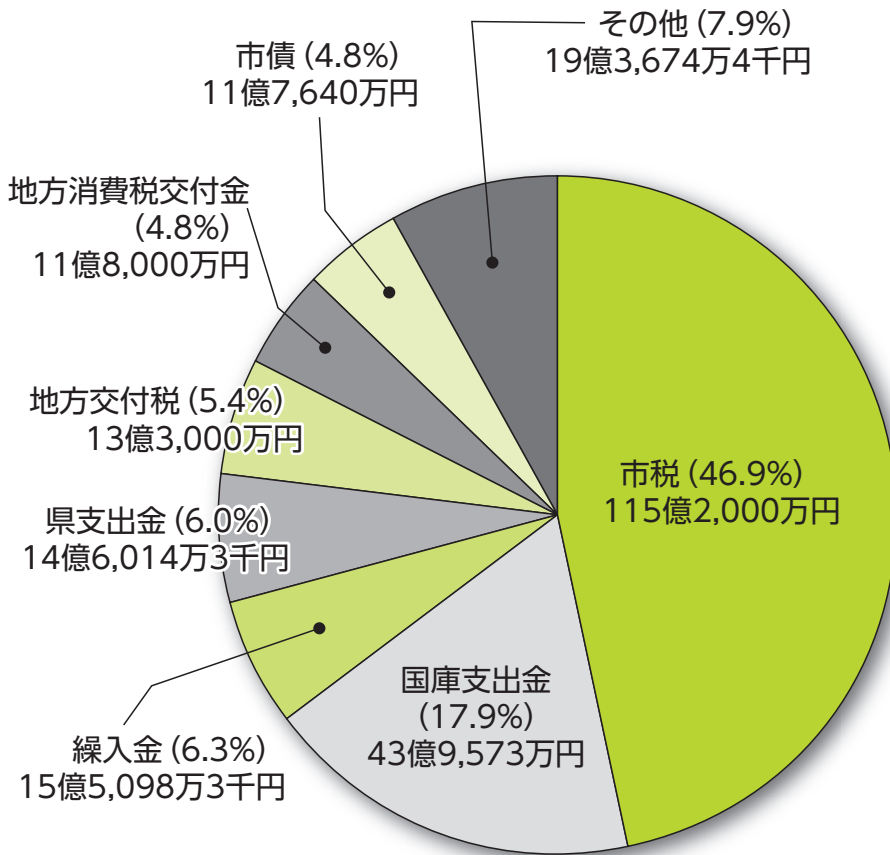
ぜひ、今後の参考のために市議会だよりについての感想やご意見をお聞かせください。

今年度

一般会計の歳入

予算

総額は過去最高の
245億5,000万円
(前年度比6.3%増)



蕨市の予算概要

今年度の一般会計予算は、245億5000万円と過去最高額となりました。歳入では、約47%を占める市税が前年度比2億5000万円の増、繰入金は前年度比約7億7272万円の増を見込んでいます。歳出では、約49%を占める民生費が前年度比約3億541万円の増、総務費は前年度比約4億2786万円を見込んでいます。

特別会計では、国民健康保険特別会計が前年度比2億4800万円の増、公共下水道事業特別会計が前年度比8100万円の増、錦町土地区画整理事業特別会計が前年度比2500万円の減、介護保険特別会計が1億8200万円の増、後期高齢者医療特別会計が前年度比3900万円の増、公共用地先行取得事業特別会計が前年度比100万円の増となっています。

企業会計では、市立病院事業会計が前年度比約2029万円の減、水道事業会計が前年度比約2087万円の減となっています。

これらすべての蕨市全体の予算総額は、約19億3482万円増の約463億7153万円となりました。

議長選挙

3月定例会では、小林利規議長の辞職に伴う選挙が行われ、議長に今井良助氏を選出しました。選挙結果は次のとおりです。

○選挙結果

今井 良助 (新生会)	12票
鈴木 智 (共産党)	5票
榎本 和孝 (無所属)	1票

議長あいさつ



議長
今井 良助

このたび、議長の要職を務めさせていただくことになりました。改めてその使命と職責の重大さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。

市議会といたしましては、市民の代表として、議会の果たすべき役割を十分に認識しながら、市政発展のため、全力を尽くす所存でございます。

今後とも、市民の皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますよう心から御願い申し上げます、就任のあいさつとさせていただきます。

平成31年度蕨市一般会計 予算に対する附帯決議

3月定例会では、議員提出議案第1号「議案第17号『平成31年度蕨市一般会計予算』に対する附帯決議」が新生会と公明党から提出され、質疑、討論を経て、賛成多数で原案のとおり可決しました。

コミュニティバスぷらっとわらび運行事業におけるルート拡充と1台増便に関わる予算が争点となりました。本附帯決議の主な内容と反対討論の要旨を紹介します。

※附帯決議とは…法的拘束力はなく、可決された案件に付ける意見や要望のことをいいます。

本附帯決議の内容

新生会・公明党

埼玉県内の市・町では、デマンド型交通など、さまざまな総合的交通政策が検討・実施されているにもかかわらず、本市においては、コミュニティバスぷらっとわらびのルート拡充・増便以外の方法が検討されていない。本事業については、以下の事項を履行するよう強く求める。

- 1 市民全体の受益と負担、費用対効果と時代に即した観点から、交通弱者の利便性を高める総合的な交通政策の検討を可及的速やかに始め、本年8月末日までに詳細な報告書を取りまとめること。
- 2 報告書を議会に説明するまでは、コミュニティバスぷらっとわらびのルート拡充・増便に関わる予算の執行を停止すること。

反対!!

共産党

デマンド型交通の県内事例では、利用者負担が大きいことや人口密集地の課題があり、現状で蕨市に合うシステムと言えない。コミュニティバスは高齢者や障がい者等の外出機会の増加、社会参加の促進、健康増進、商店街活性化等の経済効果につながる。市民要望による今回のルート拡充は、高齢化社会の進展への対応や新たな蕨市の魅力づくりも期待できる事業。附帯決議に反対する。

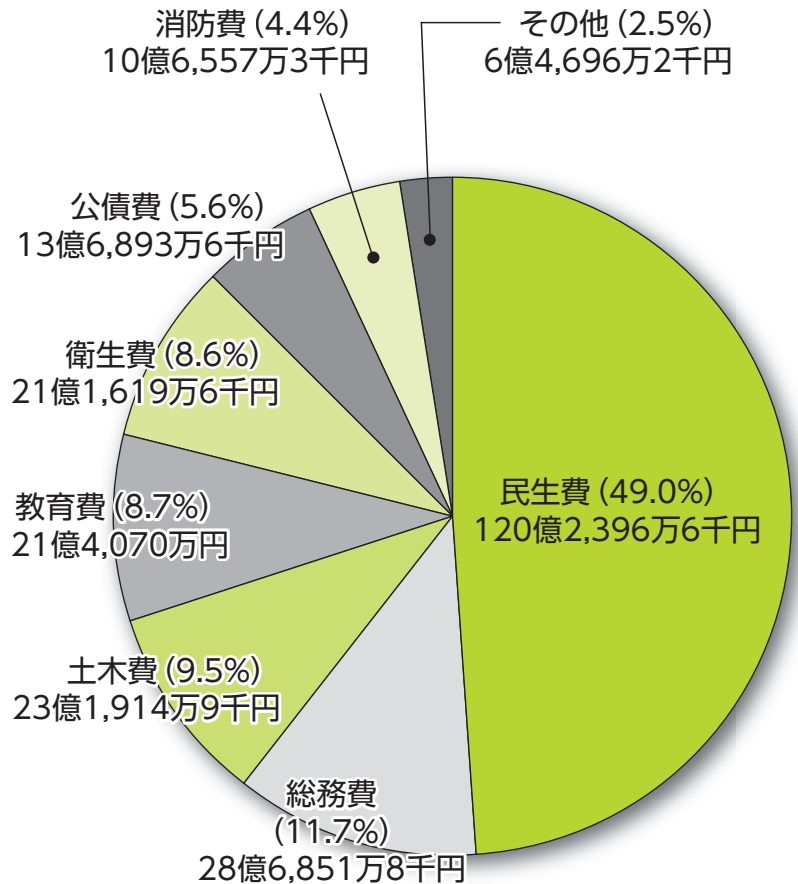
反対!!

無所属

デマンド交通が蕨市に向かないという市の考えも示され、理解できる。限られた財源で効果を上げるにはぷらっとわらびのルート拡充が妥当であり、附帯決議に反対する。

※立憲民主党は採決時に退席しています。

一般会計の歳出



今年度 一般・特別・企業会計予算

単位：千円

一般会計	24,550,000
国民健康保険特別会計	7,724,000
公共下水道事業特別会計	1,771,000
錦町土地区画整理事業特別会計	1,450,000
介護保険特別会計	5,310,000
後期高齢者医療特別会計	934,000
公共用地先行取得事業特別会計	48,000
病院事業会計（収益的支出）	3,282,495
水道事業会計（収益的支出）	1,302,043
合 計	46,371,538



－ 3 月 定 例 会 －

3月定例会の概要

平成31年3月定例会は、2月20日から3月21日までの30日間で行われました。

今定例会では、市長から施政方針表明が行われ、代表質問では、5人の議員が一般会計当初予算案や市政全般について、質問を行いました。（6・7ページ参照）

また、一般質問では、13人の議員が子育て支援やコミュニティバス等とわらびの拡充などの市政の重要課題をそれぞれ取り上げ、執行部の見解を問いました。（8～14ページ参照）

採決では、市長提出議案27件を原案のとおり可決・同意したほか、議員・委員会提出議案3件を原案のとおり可決して、閉会となりました。

今年度予算の主な事業

市議会では、今年度予算の議案について、総務・環境福祉経済・教育まちづくりの3つの常任委員会に付託し、詳細にわたり審査を行っています。そのうち、お金の使いみちとして、主な新規・拡充事業等をピックアップしました。各常任委員会の所管ごとに紹介いたします。

総 務 常 任 委 員 会

■新庁舎建設等工事設計事業

5,927万1千円

今年度から2か年にわたり、建物の配置やデザインなどを決める基本設計・実施設計を行います。今年度は基本設計及び現庁舎の解体工事の設計に着手します。

■蕨駅ホームドア整備 1億1,260万円

今年度末までの供用開始に向けて、JR東日本に対し、補助金を交付します。昨年度から2か年の補助金総額は1億2,000万円となります。



ホームドアのイメージです

■市制施行60周年記念事業

2,217万3千円

式典の実施やグッズの作成・販売を行うほか、NHKの「ラジオ深夜便のつどい」、テレビ東京の「開運！なんでも鑑定団」の公開収録、駅西口イルミネーションの一新、ボールゲームフェスタの開催などの事業を予定しています。

■消防署塚越分署の整備

2億6,677万3千円

今年度から2か年にわたり、消防署塚越分署を現在地において建て替え整備を実施します。工事期間中は、市民公園管理棟内に仮設事務所を設置し、一時的に機能を移転します。



塚越分署のイメージです

■想定浸水深表示の設置 105万9千円

市内の電柱100本に、荒川が氾濫した場合に想定される浸水の高さや洪水時の避難所の表示を設置します。また、浸水が想定される実際の高さに赤いテープでの表示も行います。

■収納対策の強化

65万7千円

自主納付を促す自動電話催告システムを導入し、効率的で効果的な滞納整理を推進することで、収納率の向上を図ります。

環境福祉常任委員会

■重度知的障害者入所施設運営費補助金 96万円

蕨市が属する埼玉県南部障害保健福祉圏域内に於いて、新規に開設する入所施設に対し、対象者1人につき月額4万円を最大60月間補助し、入所する蕨市民の支援の安定を図ります。

■民間留守家庭児童指導室の新設・整備 2,447万8千円

民設民営による留守家庭児童指導室「キッズクラブ蕨中央」が中央7丁目に4月から開設しています。その運営費用に対する補助金を交付するとともに、新たな留守家庭児童指導室設置を公募し、整備費用に対する補助金を交付します。

■子育て世代包括支援センター母子保健型の整備 907万6千円

妊娠期から子育て期にわたるまで、切れ目のない支援を提供するために、保健センター内に子育て世代包括支援センターを整備します。保健師が専門的な見地から相談支援を実施します。

■病児・病後児保育施設の新設・運営 1,450万円

「病児保育施設にじのへや」が中央3丁目に4月から開設しています。病気・回復期にある子どもを一時的に預けることができます。

■特別養護老人ホーム用地確保奨励金 102万5千円

市内4か所目の特別養護老人ホームとして、中央7丁目に2月から開設した「レーベンホームわらび」の用地確保協力者に対し、固定資産税及び都市計画税の課税相当額を交付します。



レーベンホームわらび

■「蕨ブランド」認定品の情報発信 128万5千円

3年間の認定期間が終了することから、今年度中に新たに蕨ブランドを認定し、市内外への認定品の発信などにより、市のPRにつなげていきます。

教育まちづくり常任委員会

■中央公民館・西公民館へのエレベーターの設置等 2億3,976万5千円

両公民館にエレベーターを設置し、利便性の向上を図ります。また、西公民館では空調改修工事も合わせて実施します。



西公民館



中央公民館

■ブロック塀等撤去工事補助金 150万円

道路等に面して安全性に疑いのあるブロック塀等の撤去を促進するため、撤去にかかる費用のうち、10万円を上限に補助します。

■夜間中学校への支援 64万3千円

4月から川口市に夜間中学校が開校し、その運営経費の一部を負担します。義務教育を修了できなかった人などが対象となります。

■小・中学校教育情報化の推進 6,280万7千円

小学校全校と東中学校に設置されている教育用パソコンをタブレット兼用型に更新するなど、ICT教育の推進を図ります。

■コミュニティ・スクールの導入 10万円

学校運営や学校の課題に対して、広く地域住民などが参画できるように、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を段階的に導入します。今年度は東小・塚越小・東中の3学校区を1地区とした学校運営協議会を設立します。

■蕨駅西口市街地再開発事業の推進 1億4,100万円

蕨駅西口地区市街地再開発準備組合が実施する権利変換計画の作成などに対して補助金を交付し、事業の推進を図ります。



質 問

ー代表質問とはー

一般会計当初予算案や市政全体にわたり、各会派の代表者1名と、2人以上の会派に所属していない1人の議員も、それぞれの持ち時間で質問ができます。

暮らし支え、心通う「あったか市政」 市民の願いを活かし、さらに前進を

日本共産党
鈴木 智



「あったか市政」の成果と展望

議員 国の政治が信頼を失い、国民が不安を抱えている今日、市民の暮らしを支え、市民と心を通わす市政運営は極めて重要。日本一の「あったか市政」を目指す市政運営で、蕨市政はどう変化したか。施政方針で表明した「あったか市政第2ステージ」の方

向性、目標などはどうか。
総務部長 防災・防犯対策等、安全・安心の取り組み、子ども医療費無料化や保育施設の増設等、市民の暮らしに直結する取り組みが前進した。
市長 あったか市政を継続発展させることも、これまでの市政改革を土台にして、3大プロジェクト（超高齢化社会への対応、蕨駅西口再開発、新庁舎整備）を中心に大きな事業にも取り組む。3大プロジェクトは、中・長期にわたる事業であり、蕨の未来にとっても大事な事業。市制施行60周年もあるため、協働のまちづくり、市民の力で蕨の魅力をさらに高め前進させ

るまちづくりを進めたい。
消費増税の影響
議員 10月実施が予定される消費増税10%への増税について、新年度の市財政及び市民生活への影響についての認識は。
総務部長 家計や企業業績は厳しさを増し、景気への悪影響を懸念。市財政は、消費税引き上げ分の歳出増が見込まれる一方、地方消費税交付金の増は、時期の関係でほぼ見込めない。歳入で用料・手数料等120万円、歳出で3400万円程度の影響を見込んでいる。
財政健全化の取り組み

議員 2018年度（平成30年度）末、及び2019年度（平成31年度）末の蕨市の借入金全体の残高見込みはどうか。また、市長就任時との比較ではどうか。
総務部長 平成30年度末では約296億5400万円を見込み、前年度比で約6億5200万円の減、市長就任時との比較で約66億5500万円の減となる。また、平成31年度末の借入金合計は約293億7600万円を見込む。
コミュニティバスのルート拡充
議員 コミュニティバスルート拡充の検討状況は。
民生生活部長 市民要望やア

ンケート結果などに基つき、運行事業者や警察等と協議、検討している。内容は、西ルートで逆回りの導入、東南ルートの市役所等への利便性向上、バス停増設など。
こども医療費の無料化実績と対象拡大の検討
議員 実績の推移は。高校卒業までの対象拡大について。
健康福祉部長 平成19年度（2歳まで無料、3歳児以上の未就学児は一部負担）では対象者3574人、5万3008件。29年度（中学卒業まで無料）は対象8616人、12万5343件。対象拡大は調査・研究する。

将来を見据えた市政の推進を 頼高市長の今後の市政運営を問う！

新生会
三輪 かずよし



「コンパクトシティ蕨」 将来ビジョンについて

議員 平成30年度が同ビジョンの前期実現計画の最終年度であるが、重点プロジェクトにおける未達成の項目と今後の対応をお聞きする。まず「安全・安心プロジェクト」の家庭等における災害への備え実施率はどうか。

民生生活部長 市民意識調査の目標値90%に対し、85.3%で未達成であり、あらゆる機会をとらえて啓発に努めていく。
議員 「子ども未来プロジェクト」の保育園待機児童数はどうか。
健康福祉部長 目標値の待機児童ゼロに対して、30年4月1日現在では22人であり、引き続き認可保育園の整備を中心に待機児童ゼロを目指したい。
議員 「にぎわい創出プロジェクト」の中心市街地の空き店舗数はどうか。
民生生活部長 目標値24力所に対し、29年度の実績は55力所の空き店舗がある。埼玉県

の空き店舗解消に向けたプロジェクト事業に取り組み、空き店舗解消に向け努力する。
市長が掲げる3大プロジェクトについて
議員 「超高齢社会に対応したまちづくり」について、いきいき百歳体操の会場の確保をどのように対応するのか。
健康福祉部長 会場が見つからない現状がある。市としても検討していく。
議員 「蕨の玄関口」にふさわしい蕨駅西口再開発の推進についてであるが、地権者の了解がとれるのか。
都市整備部長 定款や事業計画は各権利者からの同意が必要となる。引き続き準備組合

と連携を図り、合意形成に努めたい。
議員 「市役所新庁舎建設等工事の設計」について、コンパクト化を求め過ぎていると思われるが、利用者にとのような配慮がなされるのか。
総務部長 通路は十分な幅を確保するなど、だれもが利用しやすいようユニバーサルデザインを採用した設計とし、窓口や業務に応じたカウンターの配置を検討していく。
新年度当初予算の主な内容について
議員 蕨駅ホームドア設置工事のスケジュールと運用開始はどうか。

総務部長 昨年9月から蕨駅ホームの仮囲い等を初め工事に着手し、今年度はホーム改良工事を進めている。31年度末までの供用開始の予定である。
議員 中央公民館及び西公民館のエレベーター設置は、新生会の重点要望だが、工事期間と利用開始時期、工事に伴う部屋の利用制限はどうか。
教育部長 両館ともに6、7月ごろから約半年間の工事を実施し、年末ないし年明けに利用開始の予定である。また、中央公民館は7月から3か月程度、西公民館は10月の1か月程度、平日と土曜日の部屋の利用を制限することなどを予定している。

代 表

独断専行に走る3期12年間のあったか市政 不作為が顕在化し、市政刷新の必要性は大！

立憲民主党 一 関 和 一

自主財源確保の強化

議員 個人市民税納付率県下ワースト2位の中、自主財源確保への強化策とその数値目標はどうか。

総務部長 納付書つき催告書の送付などによる滞納整理体制の強化を継続しながら、新たに自動電話催告システムを導入し、休日等、滞納者が在宅の時間に電話催告を行うことで早期自主納付につなげ、当初予算に計上した収入額と収納率を上回るよう努めていく。

市独自のガイドラインの策定について

議員 持続可能性の観点から、施策の必要性をはじめ、優先度、

断されるものと考えている。

総務部長 副市長の配置等につ

いては、適切な時期に適切に判

断されるものと考えている。

議員 県下唯一、8年間も副市長

の空白状態が続く中、コンプラ

イアンス（法令順守）から、そ

の選任の見直しはどうか。

議員 県下唯一、8年間も副市長

の空白状態が続く中、コンプラ

イアンス（法令順守）から、そ

の選任の見直しはどうか。

議員 県下唯一、8年間も副市長

の空白状態が続く中、コンプラ

イアンス（法令順守）から、そ

の選任の見直しはどうか。

議員 県下唯一、8年間も副市長

の空白状態が続く中、コンプラ

イアンス（法令順守）から、そ

の選任の見直しはどうか。

議員 県下唯一、8年間も副市長

の空白状態が続く中、コンプラ

イアンス（法令順守）から、そ

の選任の見直しはどうか。

議員 県下唯一、8年間も副市長

の空白状態が続く中、コンプラ

イアンス（法令順守）から、そ

の選任の見直しはどうか。

議員 県下唯一、8年間も副市長

の空白状態が続く中、コンプラ

イアンス（法令順守）から、そ

の選任の見直しはどうか。

議員 県下唯一、8年間も副市長

の空白状態が続く中、コンプラ

イアンス（法令順守）から、そ

の選任の見直しはどうか。

今年度における 市政運営及び予算編成の内容について

公明党 大 石 幸 一



市長の市政運営について

議員 市長マニフェストで、達成できなかった項目とその理由は何か。

市長 マニフェストについては実施済み、着手が合わせて89%であるが、がん検診の個別検診化や空き店舗の活用についてはまだ実施できていない。がん検診では、マスコミ

災害時における外国人への対応について

議員 災害時には、被災した多くの住民の方々が避難所に集まることが想定されるが、外国人への対応はどうか。

市長 避難所に外国の方でも簡単な意思疎通ができる避難

等の影響もあり、集団検診で受診率が上がったため、わざわざ大きな予算をかけずに柔軟に対応した。また、空き店舗の活用では、各方面にご協力いただき解消に至っている空き店舗もあるが、今の社会経済状況もあり、それ以上に新たに空き店舗になったものが多い状況となっている。

将来を見据えた市立病院の在り方について

議員 市立病院の将来構想の内容はどのようなものか。

病院事務局長 市民アンケートや患者アンケートを実施したところ、救急医療に関する意見が最も多く寄せられた。病床機能については、埼玉県地域医療構想の動向を踏まえて再度検討していきたいが、

所会話セットを備えているが、それでは済まない課題も出てくると思う。地域、町会、自主防災会の皆さんのご協力も含めて、これからの課題として、取り組んでいく必要があると考えている。

ICT教育について

議員 小・中学校教育情報化推進事業の内容はどのようなものか。

教育部長 小学校全校と東中学校において、児童・生徒が使用するパソコン教室の端末を従来のデスクトップ型からタブレット型へと変更し、普通教室等でも兼用して使用できるようにする。

現在の130床の急性期病床を維持し、急性期医療を担っていきたいと考えている。また、課題である建物の耐震化については、今後院内に検討組織を立ち上げ、具体的な方向性を検討していく。

水道事業について

議員 基本方針と基本目標はどのようなものか。

水道部長 昨年度末に策定した「蔵市水道ビジョン後期計画」において、「安心して飲めるおいしい水道」「いつでも安定して使える水道」「将来にわたって健全な水道」「環境に優しい水道」の4つを基本方針に据え、この基本方針を実現するための方向性を示す12の行動指針、さらに具体的施策である22の行動計画を定め、これらを体系的に実施することにより、市民の皆さんから信頼される水道事業を目指して取り組んでいきたい。

「あったか市政」を問う

無所属 榎 本 和 孝

「あったか市政第2ステージ」について

議員 第1ステージの総括は。

市長 3期12年で、中学校卒業までの医療費無料化などの暮らしを守る市政の前進、協働のまちづくりなどの心が通い合う市政の前進、市立病院の黒字化などの市政改革を進めた。

議員 第2ステージは何年または何期かかるのか。また、第3ステージもあるのか。

市長 第1ステージの土台に立つて未来に向けた大きな課題にチャレンジする。何年かかるというものではなく、中長期の課題などに取り組むステージに入ってきたということだ。第3ステージは社会経済情勢により変わる

ので現時点で言及できない。

「コミュニティ・スクールの導入について

議員 新たな学校運営協議会の内容とモデル地区（塚越地域）以外の今後の見通しは。

教育部長 学校運営協議会は学校運営に関わる基本方針の承認や評価を行い、地域と学校が一体となつて、よりよい教育の実現を目指す。モデル地区以外は、成果と課題を分析し検討する。

「ふたつの土壌」の活動場所について

議員 錦町土地区画整理事業により、活動場所がなくなつてしまつてはないかという声があるが、今後の見通しは。

都市整備部長 協議したい。